

埼玉大学男女共同参画室講演会
ースポーツのジェンダーを考えるー

性と柔

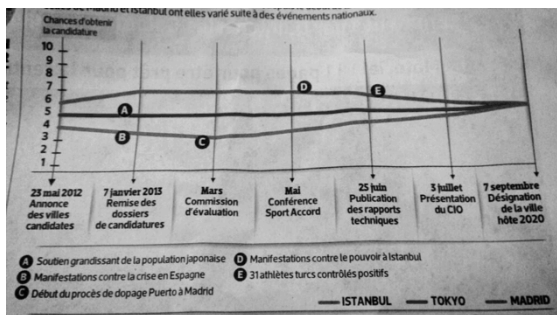
女子柔道史から問う

2013年12月16日
静岡文化芸術大学 溝口紀子

2020東京五輪と 15人の女子柔道選手

- もし東京招致が失敗すれば、女子15人の選手は、告発によって日本スポーツのイメージを悪くしたという戦犯扱いされかもしれない。
- 五輪招致裏話

レキップ紙、五輪招致大接戦でアルゼンチンにかけて「金のタンゴ」と揶揄。これまでイスタンブールが有利だったのをマドリッドと東京が追いついたとか。



全柔連不祥事



事件の概要

- 2013年1月29日、に女子柔道の国際試合強化選手15名が、園田隆二全日本女子ナショナルチーム監督を始めとした指導陣による暴力行為やパワーハラスメントを訴えていたことが発覚した
- この一連の動きで象徴的なことは、告発した選手が名前を公表せずに、メディアの力を利用し、告発文で強化委員長、監督、コーチを辞任させたことである。

帯から観る ジェンダーバイアス



上段: 講道館女子部は帯に白線をつけることが嘉納によって義務づけられた

→ 男女一緒に練習することは禁止され、危険回避のため男女区別した。



下段: 武徳会における女子の帯男子と同様である。地方では男女一緒に練習をおこない、試合も行っていた。男女同じ昇段規定であった。



現在の女子の帯、 二重規定の存在

国際柔道連盟試合審判規定第3条(1)

「段位によって色分けされた4cm～5cm幅の丈夫な帯が、上衣のほだけない程度に腰の高さで上衣の上から2回りするように締められ、1周目の帯も結び目から両端まで20cm～30cm程度の長さが必要はない」

2000年以降、国際大会に出場の際は、競技者は男性女性とも全員「真黒な帯」で試合をすることになった。「白線入り黒帯」を締めて出場すると、柔道衣検査で止められ、取り替えさせられる。

現在、国内大会においては女子の黒帯は白線を入れたものを着用しなければならない。例え国際ルールの大会であっても「黒帯」を締めて出場すると、柔道衣検査で止められ、「白線入り黒帯」に取り替えさせられる。

概要

- これまで女子柔道の歴史については、講道館女子部のみ柔道正史として語られており、武徳会女子に関する歴史については抹消されてきていた。
- 正史に抹消されていた歪みが全柔連の一連の不祥事につながったのではないだろうか？
- 本研究ではこれまで講道館柔道史では黙殺されてきた女子柔道の試合と段位制度について、明治期から戦前までの講道館女子部と武徳会の事例から実証し、武徳会と講道館の関連性や女子柔道の位置づけをめぐる戦前のジェンダー問題を明らかにしていきたい

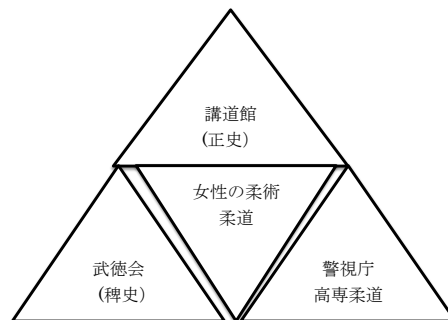
歴史社会学の手法

- 歴史社会学とは、歴史学と社会学の融合を目指す点で、学際的な研究において歴史記述をどう扱う
- 歴史からその時代の空間を可視化していくこと

柔道正史のパースペクティブ

- 日本における「柔道」の歴史は、『大日本柔道史』[丸山, 1939]に代表されるように、「講道館柔道」の歴史が柔道正史と位置付けられており、言い換えれば、講道館以外の柔道すなわち大日本武徳会(以下武徳会)や、柔術流派の歴史は、明示的に論じられてこなかった。
- 一方、柔道の野史にあたるのが『秘録 日本柔道』[工藤, 1975]である。工藤は、「いずれも柔道の家元・講道館側に立って書かれたものであり、ことに講道館柔道の創始者・嘉納治五郎師範は、徳川幕府における「東照権現」(徳川家康)と同じく、神格化された存在であり、門人(講道館員)の間においては批判の対象外におかれてきた。」と指摘している。

正史と秘史



大日本武徳会



武徳会の解説

- 武徳会とは、明治28年(1895)に、武術精神(武徳)を、軍司や警察、天皇と結び付けることを目的として発足された。総裁には時の国民的英雄であった陸軍参謀総長・小松宮彰仁親王、賛成員には伊藤博文、山県有朋、榎本武揚らが名を連ね、60名の発起人には京都府庁の官吏が加わり、設立から実権を握った。組織の全国展開には府県知事や地方行政機構が当たり、会員や資金の募集では内務省の監督を受けていた。明治期において会員数を着実に増やし、支部を受け皿として行われ毎年のように支部が全国に設置されていった。
- 現在、各都道府県に設置されている県立武道館の前身が武徳会の支部である場合が多い。

柔道のフィロロジカル 言説分析

- 「1882年、嘉納治五郎が創始した「日本傳講道館柔道」をいう。日本古来の柔術に研究と相違を加え近代化したもので、体育・勝負・修心という人間形成の道をきわめることを目的とした。」『ブリタニカ国際百科事典』
 - 「日本古来の柔術諸流派をもとに、明治15年(1882)嘉納治五郎によって創始された。格闘技、心身を鍛練修養し、青少年の教育に貢献することを目的とした。」『大辞泉』
 - 「我が国独自の武道の一。武器を使用せず、相手の攻撃力に順応して相手を投げ倒し、または抑え、もしくは当て身などの攻撃・防御の技を行い、同時に身体鍛練と精神修養とを目的とする術。その起源は相撲と共にきわめて古く、流派の生じたのは、戦国時代で、柔術・やわらと総称され、江戸時代、武士階級の武道として盛んになった。明治に入って嘉納治五郎により、各流派を統合して講道館柔道が大勢され、第二次世界大戦後にはスポーツとして世界的に普及。」『広辞苑』
- 日本の多くの辞典で「嘉納治五郎が創始した柔道」、「講道館柔道」が、柔道として定義されている場合がほとんどであった。

嘉納治五郎と女子部

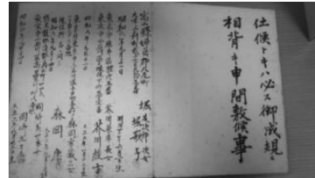


1935年 講道館女子部で行われた高等女学校教員の形講習会

女子向けの体育として 再構築された女子柔道

- 昭和初期、講道館女子柔道は、他の女子体育と同様に、「女子向けの柔道」として嘉納によって再構築され、「形」と「乱取」を中心に行われた。男性修行者は女子部道場の入室が禁止され、嘉納自身や嘉納に指定された指導者以外の男性と組み合うことは一切なかった。
- ま試合も禁止されていたために女子には昇段の機会もなかった。
- 女子向けの柔道として「形」を用いて普及を図った。特に「精力善用国民体育」や「女子護身法」をなどの「形」を女子向けの「形」とし、良妻賢母主義を背景に日本精神や武道精神の修養、女性美や作法、精神修養に役立つと奨励され、試合などの競技スポーツは重視されなかった。

女子誓文帳



講道館初の有段者 乗富政子

初段を飛び越しいきなり2段に昇段



嘉納はなぜ試合を禁止したか？

- 「女子柔道の試合について嘉納師範は、勝負になると勝ちたい、負けたくないの一心から、とかく無理をするようになるなどの理由から当分の間禁止する」[嘉納治五郎伝記編集会,1964:464-465]といわれるように嘉納は初期から二重規範を存在させ、男性とは異なる段位規定および試合の禁止を女子柔道に設けた。
- 女子部の開設当初、女子は入門に際し男子よりも条件が厳しかった。例えば嘉納は女子に関して家柄や出自などを重視し、入門書式(申請書)のほか、健康診断と戸籍謄本の提出を求めたため、稽古に来るのは嘉納の孫や高等師範学校長の子女らばかりだったという[山口, 2009:85]。
- 女子部道場は、「嘉納の執務する館長室に近い室を充てられ、館長室に入り出す際、女子部道場からの稽古の音が聞こえてくると、ちょっとでも立ち寄ってその指導ぶり、稽古ぶりをみるという風であった。指導者も特に技や稽古のよい者を選んで充て、高段者といえども嘉納の許可なしで女子部道場に入り、稽古することを認めなかった。」[村田, 1993:145]

武徳会と女子

- 小崎、乗富の記述から地方(武徳会)の場合、女子は日常的に柔道の稽古を普通の道場で行っていた。また試合も男女混合で行っていた。
- 小崎が所属していた武徳会では女性を受け入れ男性と乱取練習を行わせ、さらには男性と同じ条件での昇段の機会を与えた。そして昭和7年(1932)、11月武徳会大阪支部昇段試合において、嘉納の目前で5度目の挑戦で小崎は男性3人を破り武徳会初段に昇段し女性初の有段者(黒帯)となったのである。
- さらに昭和10年(1935)、小崎は女性で初めて大阪天王寺に「清源館道場」を開設し、昭和14年(1939)には女性初の「柔道錬士」となった。→資料段位規定

黒帯取得から女性の社会参加へ

- 練士、柔道の段位の称号を持つ事で、その後、骨接ぎとしての資格を得ることになる。
- 道場経営、接骨院経営を手がける。
- 晩年は米田整形外科の師範、教員として活躍し全日本女子柔道界最高名誉顧問に就任。

武徳会で女子有段者が誕生



出典: 1990 2月号近代柔道 P20-23
参考文献: 内藤洋子、『おんな三四郎83歳宙をとぶ? 女性黒帯第1号、小崎甲子の柔道一直線』、エフエー出版、1996

小崎の講道館における存在

- 台帳によると講道館入門日は昭和7年(1932)12月19日、初段昇段日は、昭和8年(1933)1月18日と記されていた。講道館女子有段者の誕生。
- すなわち女子誓文帳(講道館女子部)に、小崎は登録されていなかったにも関わらず、有段者として別の講道館の台帳に登録されていた。換言すれば、小崎は、初の講道館女子柔道有段者にもかかわらず講道館女子部に入門していなかったという齟齬をきたしていた。
- この事実から、武徳会有段者であった小崎は、講道館女子部では排他的に扱われていたのではないかと考えられる。

1942(昭和18)岐阜陸軍病院 慰問柔道大会で柔の形を演 習



恩師 天神真揚流、講道館 戸張滝三郎との演武

講道館段帳簿

武徳会初段、女性初の練士



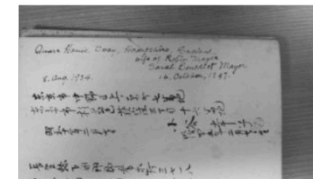
1931 (昭和7年) 武徳会大阪の昇段試合男性3人を破る。その会場には嘉納治五郎が同席しており、「女だっていいじゃないか」の一声で昇段決定
1934 (昭和10年) 大阪天王寺 武徳会練士として道場開設

外国人女性初の武徳会有段者とされるサラ・メイヤー



出典 <http://judoinfo.com/mayer.htm>

女子誓文帳にメイヤーのサイン 1934、8月8



女子部講道館 (これまでの柔道史)

- 1923 大正12ごろ 安田勤子が嘉納家に住み込み女子書生となって自宅道場で嘉納自ら稽古をつけていた。女子柔道の指導研究を始める。
 - ★1925普通選挙法/治安維持法
 - 1926 大正15 開運坂道場に女子部開設
 - ★小崎の影響 1932 11月に大阪武徳会にて昇段
 - 1931 9月11日 女子部にも誓文帳(入門帳)が作成され、5か条の誓文が明記される。
 - 1933 1月 小崎甲子 初の講道館女子有段者となる。
 - 1934 1月 芥川綾子、森岡康子初段、乗富政子2段(飛び越しの昇段)女子の段級制導入。
 - ★1946 昭和21年女性参政権
- しかし、講道館では、女子柔道の試合制度はなく、競技として発展することはできなかった。講道館女子部は、「形」を中心とした女性スポーツとして形成された。→試合は禁止

講道館の伝播以前に 欧米では柔術文化が隆盛

- 海外では目新しい柔道より、柔術の方が一般的であった。
- 日清、日露の戦争の勝利により、体の小さい日本人が勝つ象徴として柔術が注目された。
- 講道館の伝播以前に、欧米では柔術の文化の地盤があった。
- フランスでは護身術として女性に普及し柔術文化としてシャンソンなどが生まれた。

柔術とジャポニズム



女性と柔術文化



女性の護身のためのカード



1907年ごろ



女性と柔術文化



「柔術の秘密」、「本当の柔術」 という歌まで存在した



柔術文化と風刺絵



イギリス女性参政権運動にて柔術 で警官に抵抗するガルド婦人



<http://martialhistory.com/2008/01/jujutsu-suffragettes>

パンチ紙に掲載された女性参政権 運動闘争時の挿絵



出典:

<http://martialhistory.com/wp-content/uploads/2008/01/punch-july-1910-suff-ij.jpg> 2

欧米における女子柔道の芽生え

* イギリス 1904? Garrudのクラブで護身術

- フランス 1906 ハンコック 女子柔術の指導書フランス語に翻訳される
- 1912 フランス女性柔術のクラブ
- 1940 Charles Malaise 指導の下、42人ほど女性が柔道をしていた
- 1943 日本大使館員の子供の少年の中に6人の女性が混ざり乱取を行っていた。

ハンコック著書 「柔術と女性」フランス語版



ウーマン・リブ運動から 女子柔道の競技化へ

- 1968年(昭和43)年に講道館女子部の中に試合実施を望む声があがり、当時の指導陣が検討した結果、結論が導かれなかったといわれている。
- 1973年の国際柔道連盟の理事会において、女子世界選手権は国際柔道連盟の管轄下に行われることに決まり、審判規定、体重区分、審判員などの大会要項についても近いうちに審議されるようとしている気運があった。
- 欧米諸国が第二波フェミニズムの動きとともに第一回世界女子柔道選手権大会開催(1980)の気運を広げていた。

女子柔道史からのジェンダー アプローチ

- 近代の女性にとって柔術や柔道は「身体運動」としての活動を促しただけでなく、「護身術」として男性を打ち倒す「術」をみにつけることによって、男性中心の社会制度(家父長制)を変えていく勇気と自信を与えたのではないか
- 近代の女性スポーツは、「ジェンダー差異の文化装置」であったとも考えられる一方で、小崎やイギリスのメイヤー、ガールドのように女性の「柔術、柔道」によって、男女同権を具現化していく過程でもあった。

セクハラ関係にならないために

- 結果出した人間に、指導者、組織は手を出さない。
- 恋愛式コーチングはドーピングと同じ。リスクとペナルティを伴うことをコーチも選手も理解すること。
- 人は生きる知恵として、色もコネも使う。だからこそモラルが必要。インテグリティ(高潔さ)、フェアネス(公平さ)
- 仲間と連携し理論武装。柔よく剛を制す。
- ムラ社会から抜け出す、自浄能力を高める組織を！「気づかせる」しかけ。No!といっても気まずくならない関係。あいさつ十一言運動

コーチングに 恋愛は存在しない。

- 感謝と尊敬が恋愛感情に発展する場合がある。「それに便乗する形で優位にある指導者・教員が恋愛をしていけないわけではない。だが、フィジカルな関係をもつことで女性はその恋愛を不本意な強制と感じた時から、恋愛はセクハラに転化し、訴えればそう認定される。
- 特定の選手や学生だけを最良(恋愛)するのは、指導者として指導力不足を自明なものにしているようなもの
- 教育委員会では、恋愛関係であってもフィジカルな関係をもったこと事態で教員は懲戒免職。未成年へのわいせつ行為。